

<総括>

地域におけるより身近で、開かれた教育・保育の専門機関として、地域や社会環境のニーズをキャッチし、昨今の新型コロナウイルス感染予防対策を考慮したうえで保育サービスの充実を図った。特に就学準備としての教育や園児の健康維持を図る行事や日本の伝統行事や文化行事の実施を通じて、基本的生活習慣の確立を図るとともに、人間としての生き方を身体で覚えさせる取り組みの充実を図った。特に最近の子どもは、自然の中で遊ぶ時間の減少が見られるので、地域探訪や山登りなど、自然の中で様々な体験や経験をさせるよう努めた。また、園の活動を地域の方々によく理解していただくと共に、地域に開かれた認定こども園としての広報、宣伝活動にも力を入れ、以下の事業内容を実施した。

<内容>

	重点実施項目	実行内容	実施結果
地域貢献の視点より	1、子育て家庭への認定こども園機能の開放	1、毎月園庭開放、すくすく子育て教室で未就園児と親の体験保育を実施	1、新型コロナウイルス感染予防のため、園庭開放、すくすく子育て教室は、中止した
	2、子育て等に関する相談や援助の実施	2、相談（含電話相談）は毎日実施。それ以外に毎週1回の園庭開放時、すくすく子育て教室時に毎回実施	2、新型コロナウイルス感染予防のため、園庭開放、すくすく子育て教室は、全て中止した
	3、子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進	3、園庭開放、すくすく子育て教室を通じて交流の場の提供	3、新型コロナウイルス感染予防のため、園庭開放、すくすく子育て教室は全て中止した
	4、地域の子育て支援に関する情報の提供	4 ①書写認定こども園子育てだよりで子育て支援事業に関する案内や園の子育てに関する情報の提供 ②園だより、HP、よい子ネット等での情報の提供	4、①書写認定こども園子育てだよりは、新型コロナウイルス感染予防の為、回覧を全て中止した ②・園だより 12回発行 ・HP 12回更新 ・よい子ネット 144回掲載
	5、老人とのふれあいを通じて地域文化の伝承と老人の孤立化の防止	5、老人ホーム慰問、老人ふれあい給食への参加 運動会で地域の老人を招いて交流	5、①新型コロナウイルス感染予防のため、老人ホーム慰問、老人ふれあい給食への参加は、中止した ②運動会は、園児と保護者（各世帯2名のみ）で実施した
	6、園行事の地域への開放により地域の活性化と子育て、子育ての支援をはかる	6、花まつり、七夕会、地蔵盆、運動会、絵画展・バザー、もちつき、とんど、豆まき等の公開実施 姫路城マラソンの応援に参加	6、・新型コロナウイルス感染症予防の為、絵画展・バザー、姫路城マラソンの応援は、全て中止した ・花まつりは、園内のみで行った ・七夕会は、各クラスの入れ替え制で実施した。（保護者各世帯1名観覧） ・運動会は、園児と保護者（各世帯2名のみ）で実施した ・地蔵盆、もちつき、とんどは、園児のみで実施した ・以下の通り報道各社で掲載・報道された。

	重点実施項目	実行内容	実施結果
地域貢献の視点より			(放映・掲載された行事) 花まつり…ケーブルテレビ 地藏盆…神戸新聞 七草粥…サテレビ・ABCテレビ 関西テレビ とんど…朝日新聞 豆まき…サテレビ・毎日放送・ABCテレビ
利用者の視点より	1、教育・保育内容 (1) 教育・保育要領に基づく教育・保育の計画と評価の実施 (2) 小学校へつなげる教育 (3) 障害児保育の実施 (4) 伝統行事や文化行事を実施する中で、人間としての基本的な型と生きる力を身体で覚える「心と身体の教育」の実施 (5) 保護者への教育・保育内容の告知 (6) 保育教諭の加配 (7) 虐待児童の早期発見早期対応	(1) 教育・保育要領に基づく教育・保育の実施、教育・保育要録の作成 (2) 主として年長児に対して、硬筆習字、和太鼓、スイミング、坐禅、体操教室、ワークの実施等を通じて、基本的な生活習慣の確立・音声文化から文字文化等への移行を図る (3) 障害児の積極的な受け入れと早期発見・早期対応 (4) 坐禅、花まつり、いちご狩り、七夕会・バザー、お泊り保育、地藏盆会、いもほり、運動会、老人ホーム慰問、人形劇観劇、絵画展・バザー、ふれあい給食、音楽フェスティバル、もちつき、うらじろ採り、七草粥、とんど、鬼追い、雪遊び、豆まき、生活発表会、和太鼓、体操教室、スイミング、野菜や花の栽培等 (5) 入園のしおり、園だより、クラスだよりの作成・配布、よい子ネット、ホームページにより実施 (6) 4月当初で4人加配 (7) 毎日の視診、長期欠席児の理由確認と市への報告、子どもセンター等、専門機関との連携	(1) 教育・保育要録(5歳児)を42名分作成し、それぞれの小学校へ送付した。 (2) すべて実施した。 硬筆習字では、香環会主催の全国ジュニア書道展で特別賞入賞1名。 (3) 障害児2名(4・5歳児)、気になる子9名(2歳児～5歳児)の保育を実施した (4) ・坐禅、いちご狩り、地藏盆会、いもほり、もちつき、うらじろ採り、七草粥、とんど、鬼追い、豆まき、和太鼓、体操教室、スイミング、野菜や花の栽培は実施した。 ・新型コロナウイルス感染予防のため、簡素化した行事(花まつり、七夕会・バザー、お泊り保育、運動会、) ・新型コロナウイルス感染予防のため、全て中止した行事(老人ホーム慰問、人形劇観劇、絵画展・バザー、ふれあい給食、音楽フェスティバル、雪遊び、生活発表会、) (5) ・入園のしおりは今年度入園の31世帯(33名)に配布した ・園だよりは12回配布した ・クラスだよりは12回発行した ・よい子ネットは、144回掲載した ・HPは、12回配信した (6) 4名加配した (7) ・毎日の視診を行った ・虐待の疑いのある児童(10名)、気になる児童(11名)は市への報告を行った

	重点実施項目	実行内容	実施結果
利用者の視点より	(8) 園庭・保育室内遊具の充実	(8) おもちゃの購入、外壁の塗り替え	(8) パズル・ブロック・人形等を購入した。外壁の塗り替えは実施できなかった。
	(9) 園舎内外の老朽化部分の修理	(9) 保育室・1.2 階の内廊下床板の修理	(9) 実施できなかった
	2、健康及び安全 (1) 食育の促進	(1) 自園給食の実施。保護者・医師と連携した食物アレルギー児への対応。食事の重要性・喜び・楽しさの理解や食事作法・食事を通じた人間関係形成能力を育む。野菜作り等を通して食物の大切さ、感謝する心を育成	(1) ・年間 288 日給食を提供した ・8 名のアレルギー児にアレルギー食を提供した ・園の畑で野菜作りを体験した ・毎日手作りおやつを提供。年度末に一年間の手作りおやつ人気ランキング 3 位 (5 歳児) を発表し、3 月の献立に入れ、提供
	(2) 子ども健康状態、発育・発達状態の把握と健康増進を図る	(2) 身体測定、内科検診、歯科検診、歯磨き指導、山登りと散策、マラソンと乾布摩擦等の実施	(2) ・新型コロナウイルス感染予防のため、歯磨き指導は 4・5 歳児のみで実施したが、その他は全て実施した
	(3) 環境整美と衛生管理の徹底	(3) 学校薬剤師の指示の下、整理・整頓・清掃と手洗い、消毒の徹底	(3) 整理・整頓・清掃と手洗い、消毒は、毎日実施した
	(4) 安全指導と不測の事態への対応	(4) 遊具の点検、避難訓練、不審者侵入防止とその他の措置・訓練	(4) ・遊具の点検は毎日実施した ・避難訓練は年間 18 回実施した ・不審者侵入防止措置について職員に周知し、訓練(職員研修)は年間 1 回実施した
	3、保護者支援 (1) 園と家庭の相互連絡の充実	(1) 連絡帳の利用、園だより、クラスだより、よい子ネット・ホームページによる情報提示、子ども送迎時の対応、苦情相談の受付等	(1) ・連絡帳は毎日利用した ・園だより、クラスだよりは 12 回発行した ・よい子ネット (114 回)、ホームページ (12 回) での情報提示は随時実施した
	(2) 低年齢児保育の積極的な実施	(2) 0・1 歳児の積極的な受け入れ	(2) 延べ 42 人を受け入れた
	(3) 働く両親の就労援助	(3) ①一時預かり(1 号認定) ②延長保育(2・3 号認定) ・保育短時間(7:00~8:30、16:30~19:00) ・保育標準時間(18:00~19:00)	(3) ①一時預かりは延べ 237 名受け入れた ②延長保育は延べ 2,695 名保育した
	(4) 安全で安心な遊び場の提供	(4) 園庭遊具の管理、園庭開放	(4) ・新型コロナウイルス感染予防のため、園庭開放は中止した ・遊具安全点検表をつけ、毎日チェックした
(5) 親の就労形態を問わない受け入れを図る	(5) 定員 15 名の 1 号認定の受け入れ	(5) 定員 15 名の 1 号認定を受け入れた	

	重点実施項目	実行内容	実施結果
利用者の視点より	(6) 教育・保育サービスの全体的な質の向上をはかる	(6) 職員の研修の実施 ①新任・新人研修 ②管理職研修 ③接遇研修	(6) 講師を招き、研修会を実施した ①令和4年2月26日(土) 講師：斎木 里奈氏 テーマ「クレドを使用して」 ②令和4年3月5日(土) 講師：杉本 哲哉 テーマ「法人理念の大切さについて」 ③令和4年3月12日(土) 講師：小松 仁美氏 テーマ「社会人としての基本的接遇マナーについて」 ・保育実践に必要な専門知識・技術を向上、習得する研修や、保護者対応に関する研修、職場の組織性を高める研修に参加した ・職員会議では園内研修を実施した
	4、苦情解決 (1) 苦情への適切な対応を図り、利用者の満足感を高める (2) 利用者個人の権利を擁護し、利用者がサービスを適切に利用することができるようにする (3) 苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、信頼と適正性を図る	(1) 投書箱の設置、連絡帳・口頭・電話等による苦情の受付、「要望意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入 (2) 苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員等担当者の設置。システム図示、公表(玄関) (3) 年度末に1年間発生した苦情件数等を園だより・HP・掲示板を通じて公表	(1) 10件の苦情を受付けた。(園運営システムについて2件、保育教諭対応について7件、在園児関係について1件) (2) 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで、システム図を玄関に掲示した (3) 園だより・HP・掲示板を通じて一年間、公開した
	5、保幼小連携 (1) 子ども同士の交流をはかる (2) 教職員の交流、情報交換をはかる (3) 地域としての取り組みをはかる	(1) 条件が整えば、行事や日常保育での交流 (2) 条件が整えば、打合せ、保育参観、授業参観、合同研修会の実施 (3) こども園、幼稚園、小学校が参加した連絡協議会の更なる深化	(1) 新型コロナウイルス感染予防のため、実施できなかった (2) 曾左小学校にて曾左小学校、姫路ひまわり保育園、親愛幼稚園、書写認定こども園が参加し、保幼小連絡会を2回、行った (3) 新型コロナウイルス感染予防のため、実施できなかった

	重点実施項目	実行内容	実施結果
財務の視点より	1、補助金・交付金等の増収を図る	1、労務管理士・税理士等の指導を受け、申請できるものは、できる限り申請	1、MAN90の砂田氏より指導を受け、新型コロナウイルス感染症対策包括支援事業（65万円）、低年齢児利用円滑化事業（68万2千円）などの申請をした
	2、経費の削減対策	2、経費の節約(コピー、下水道、電気代等)	2、エアコンや電気の消し忘れがないか、水道の閉め忘れがないかこまめに確認した
	3、財務諸表による経営状態の確認	3、専門家の指導を受け、財務分析を受ける	3、MAN90の砂田氏より指導を受け、良好との感触を得た
	4、職員の処遇改善	4、基準に基づき、処遇改善手当を支給	4、基準に基づき45名の処遇改善を毎月、支給した
	5、環境整備と改善	5、エアコンの購入・園庭芝生の張り替え	5、エアコンはすべて取り替えた ・芝生は、令和3年4月に補助金を受け、実施した
	6、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての必需品の購入	6、アルコール消毒液・アルコール消毒ウェットティッシュ・マスク等の購入	6、新型コロナウイルス感染症対策包括支援事業（65万円）を申請し、アルコール消毒液・アルコール消毒ウェットティッシュ・マスク等の購入を行った。
業務プロセスの視点より	1、業務改善取り組みの構築	1、各部、各係ごとのPDCAの作成と更なる深化	1、各部ごとに話し合いの場を設け、前年度の反省の下、PDCAの作成をした
	2、危機管理マニュアルの見直しと点検	2、事故防止、事故発生時の対応マニュアル、アレルギー対応マニュアル、投薬マニュアル、不審者対策、感染症・食中毒マニュアル、自然災害対応マニュアルの見直しと点検	2、それぞれのマニュアルの見直しと検討を行った。特に投薬マニュアルの見直しを行った。
	3、各部計画の見直しと点検	3、食育計画、学校保健計画、学校安全計画の見直しと点検	3、それぞれの計画の見直しと検討を行い、新しい年度の計画を立てた。特に学校保健計画を見直した。
	4、勤怠管理システム	4、指認証による出退勤の管理業務の効率化	4、出退勤時に指認証を実施し、勤怠管理を行った。
人材育成の視点より	1、人材の確保を図る	1、①関西一円から募集 ②人材派遣会社等の利用 ③就職フェアの参加 ④ハローワークによる求人 ⑤養成校への求人票送付 ⑥現法人職員による紹介 ⑦無料ウェブサイトによる求人などの利用。また採用時の一時金（6万より）を支給	1、 (1) 採用先別採用人数 延べ人数で9人（パート、派遣含む）の応募があった（うち9名採用） ①ハローワーク 2名 ②人材派遣 4名 ③職員紹介 1名 ④養成校 1名 ⑤保育所支援センター 1名 <hr/> 計 9名

	重点実施項目	実行内容	実施結果
人材育成の視点より			(2) 問題点 ①紹介料が高くなり、人件費が高騰した ②人件費の高い割にいい人材が集まらない
	<p>2、新人の育成を図る</p> <p>3、職員の研修計画の作成と資質の向上をはかる</p> <p>4、接遇、マナーの向上</p> <p>〈計画外〉</p> <p>5、レベル低下を防ぐと共に教育・保育内容の深化のための研修の実施</p>	<p>2、採用前の研修（約1ヶ月間）の実施</p> <p>①スーパーバイザーとして主幹保育教諭を配置</p> <p>②各分掌の部長保育教諭による指導</p> <p>③新人・新任研修にクレド冊子を活用し、法人の理念をはじめ、法人職員としての心構えを学ばせる</p> <p>④外部研修会への参加</p> <p>3、①キャリアパス制度を踏まえた園内外の研修を本務に支障のない範囲でできる限り受講</p> <p>②キャリアアップ研修を本務に支障のない限り順次、受講</p> <p>4、専門家の指導による研修</p> <p>5、専門家の指導による研修</p> <p>①昨年できた「クレド」を利用した研修</p> <p>②法人理念を踏まえた教育・保育内容</p>	<p>2、研修の実施内容</p> <p>①1日数回、保育室を見回り、指導を行った</p> <p>②各分掌の部長保育教諭が、部員に随時、指導を行った</p> <p>③クレドを使用したり、新人・新任年間指導計画に基づいて指導を行った</p> <p>④積極的に参加した</p> <p>3、①新型コロナウイルス感染予防のため、リモートでキャリアアップ研修を4名が受講した</p> <p>②キャリアアップ研修を13回受講した</p> <p>4、令和4年3月12日（土） 講師：小松 仁美氏 テーマ「社会人としての基本的接遇マナーについて」</p> <p>5、研修の実施内容</p> <p>①令和4年2月26日（土） 講師：齋木 里奈氏 テーマ「クレドを使用して」</p> <p>②令和4年3月5日（土） 講師：杉本 哲哉 テーマ「法人理念の大切さについて」</p>